

# 福祉にいがた

Fukushi Niigata

## CONTENTS

### 巻頭特集

## 期待される権利擁護の充実 (2・3面)

- 好評 介護施設見学会・バスツアー
- 新年度予算で福祉団体が花角県知事に共同要望
- 分水高校生のボランティア活動紹介

2月号  
2019  
第798号



絵 高橋 郁丸「牛女」(漫画家・新潟市中央区)・文 12面

# 権利擁護事業 求められるより一層の充実

◆表1 「県社協管内の市町村社協別実利用者数」  
(平成30年12月末現在)

<b>長岡市社協管内</b>		新発田市	31
長岡市	121	小千谷市	11
柏崎市	6	村上市	22
計	127	糸魚川市	9
<b>上越市社協管内</b>		佐渡市	49
上越市	75	阿賀野市	5
妙高市	6	魚沼市	51
計	81	南魚沼市	16
<b>三条市社協管内</b>		胎内市	9
三条市	20	聖籠町	0
加茂市	6	阿賀町	3
見附市	3	出雲崎町	2
燕市	4	湯沢町	8
五泉市	7	刈羽村	3
弥彦村	3	関川村	2
田上町	1	粟島浦村	0
計	44		
<b>十日町市社協管内</b>			
十日町市	51		
津南町	4		
計	55		
合計		528	

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者や知的障害・精神障害のある方など、判断能力が十分ではない方々に対して、福祉サービスを利用する際の援助や日常的な金銭管理の援助、大切な書類や印鑑などのお預かりなどを通

して、住み慣れた地域で安心して暮らせるようにお手伝いする事業として平成11年10月にスタートしました。

## 実施体制

県内では現在、新潟県社会福祉協議会（以下、県社協）と新潟市社会福祉協議会が実施主体としてこの事業を

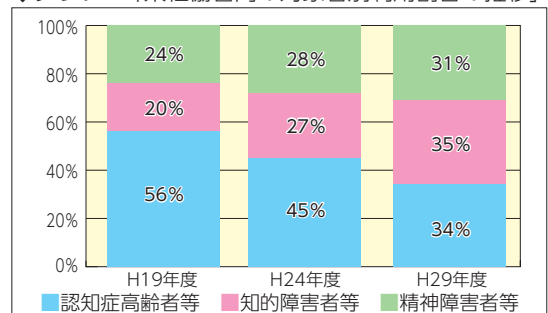
## 事業概要

実施しています。県社協管内については、これまで、基幹的な役割を担う8市の社会福祉協議会（以下、基幹的社協）が中心となり、管内の各市町村社会福祉協議会（以下、市町村社協）や関係機関と連携しながら事業を実施してきましたが、県内においてあまねく適正に

# 日常生活自立支援事業の定着・活用促進 平成31年度は新たに8市町村社協実施へ

判断能力が低下すると、身の回りの事ができなくなったり、適切に金銭管理ができず公共料金や税金などの滞納をしてしまったり、消費者被害や金銭搾取などの権利侵害に遭うことがあります。地域による見守りや日常生活の支援を行っていくとともに権利を守る支援体制が必要です。地域共生社会の実現に向けて、本人の意思や権利が守られるための「日常生活自立支援事業」と「成年後見制度」の体制整備・強化が期待されています。

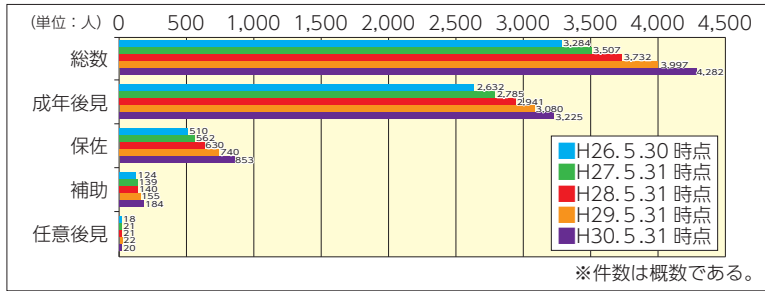
◆グラフ1 「県社協管内の対象者別利用割合の推移」



この事業が実施されるよう、各市町村における個々の実情に沿った適切な対応をしていくため、平成28年度より基幹的社協実施方式から全市町村社協実施方式への移行に向けた取り組みを行ってまいりました。

これにより、平成29年度には、新たに6市町村社協が事業実施社協になり、平成30年度からは、更に6市町村社協（糸魚川市、胎内市、聖籠町、阿賀町、関川村、粟島浦村）が基幹的社協から独立し、この事業を実施しています。また、平成31年度に向け8市町

◆グラフ2 「成年後見制度利用件数の推移」



※県社協実施「成年後見制度実態把握調査結果」より

# 成年後見制度の体制整備・強化 利用促進へ県弁護士会などと連携

村社協が事業実施に向け準備を進めているところです。

## 利用状況

県内における平成30年12月末での実利用者数は図表Ⅱ表1Ⅱの通りです。

10年前の県社協管内の対象者別利用割合は、認知症高齢者等が56%で約半数を占めていましたが、現在は障害者などの利用が増加し、障害の区分に関係なく幅広く利用が進んでいますⅡグラフ1。

今後、この事業を更に利用しやすいものとするために、県社協では引き続き、本事業の定着や活用推進に向け、実体制の強化、関係機関との連携などに取り組んでいきます。

## 制度概要

認知症や知的障害、精神障害などの理由で判断能力の不十分な方は、不動産や預貯金などの財産を管理したり、介護などのサービスや福祉施設への入所に関する契約を結んだり、遺産分割の協議をしたりする必要があっても、自分でするのが難しい場合があります。このような方々の権利を守るため、家庭裁判所が本人を保護し、支援者を選ぶことで、本人を法律的に保護・支援するのが成年後見制度です。

## 利用状況

県内の成年後見制度の各類型における利用者はいずれも増加傾向となっておりⅡグラフ2。しかしながら、県社協などが平成25年度に実施した「成年後見制度実態把握調査」のニーズ（成年後見制度の活用に対する潜在的ニーズ：5,653人）と比較すると、利用件数は少ない状況です。今後、認知症高齢者や高齢単身世帯、障害者の地域生活移行などが増加することが予想され、潜在的な権利擁護ニーズを鑑みると、十分な利用がされている

とは言えない状況です。

## 利用促進

このような中、市町村は「成年後見制度利用促進基本計画（平成29年3月24日閣議決定）」を勘案して、当該地域における成年後見制度の利用の促進に関する基本的な計画を定め、中核機関設置や地域連携ネットワーク構築など権利擁護に係る支援を講ずるよう取り組みが求められています。各市町村の状況を確認する中では、成年後見制度の利用促進に向け

た体制整備への取り組みに慎重な様子が多くうかがえます。

## 支援体制

県社協としては、従来市町村長申立事務を円滑に進めるための研修や法人後見事業を推進するための研修、制度の普及啓発や市町村などへの支援・助言などを行っています。平成29年度より新潟県弁護士会や新潟県司法書士会、新潟県社会福祉士会、新潟県と県内における成年後見制度利用促進に向けた意見交換を行う中で、課題の抽出や支援内容などを協議・検討し、各市町村における権利擁護の体制整備構築の支援を行っています。



成年後見制度利用促進に係る意見交換会

平成31年度は成年後見制度利用促進に関する5カ年計画の中間年度であるため、取り組みをさらに加速させる必要があります。

# 平成30年度介護施設見学会・バスツアー イメージ変わり 進学・就職に前向きな声

新潟県福祉人材センターでは、平成30年度に県内各地で介護施設見学会と介護施設見学バスツアーを合わせて16回開催し、高校生と一般合わせて98人が参加しました。参加者からは「暗いイメージが変わった」と介護系学校への進学や就職を前向きに考える声が多く寄せられました。県福祉人材センターでは、内容をさらに吟味し来年度も実施する予定です。

介護施設見学会は、見学会参加者が各自で見学施設に集合し、施設見学をするもので、介護施設見学バスツアーは、指定の集合場所に参加者が集合し、バスで施設に向かうものです。参加者は高校生9人、一般89人の総勢98人でした。

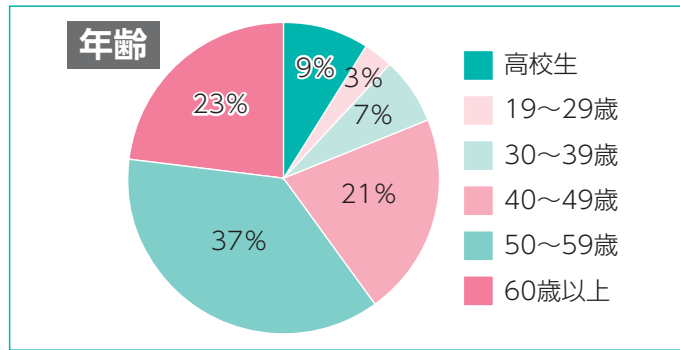
## 平成30年度 介護施設見学・バスツアー日程

### 介護施設見学会

- 7月10日 こうめの里(新潟市)
- 7月20日 沖見の里(上越市)
- 7月31日 なごみ荘(柏崎市)
- 8月29日 まつはま園(新潟市)
- 9月 6日 デイサービスふそき(長岡市)
- 10月 2日 太陽の園(燕市)
- 11月 8日 豊浦愛宕の園(新発田市)
- 11月27日 平成園(加茂市)
- 12月 5日 シンパシー(阿賀野市)
- 12月13日 にいがた恵風園(新潟市)

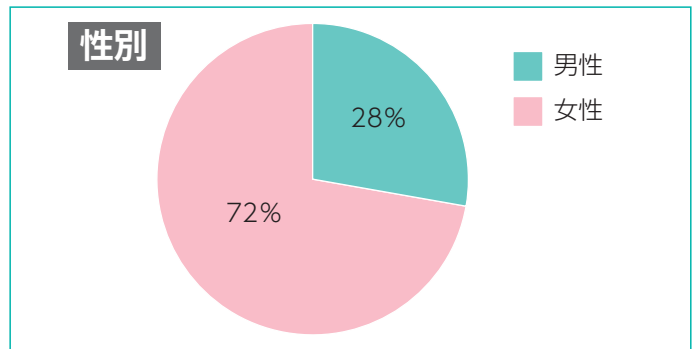
### 介護施設見学バスツアー

- 8月 7日 三和愛宕の園(上越市)
- 8月10日 岡南の郷(長岡市)
- 8月23日 黒埼の里(新潟市)
- 10月13日 ケアガーデン新幸、フローラ(見附市)
- 10月18日 はあとふるあたご柳都大橋(新潟市)
- 12月20日 なじみの家きなせや内野(新潟市)



### 【参加の動機】

「実際の施設の様子を知りたかった」が62人と最も多く、次いで「介護業界への就職を希望(検討)している」が30人、「介護関係への進学を希望(検討)している」が7人の順でした。



### 【施設の影響】

施設の影響を聞いてみると、「のびのびとご自分のペースで過ごして居た。働きやすいように感じた」「介護施設は暗いというイメージをもっていたけど、とても明るくて楽しそう」「利用者の自由度があり、みんな生き生きと利用していた」という意見があり、見学前とは大きく印象が変わったようです。

### 【職員の印象】

働いている方については、「みなさんとても明るく、利用者とも仲が良いと感じた」「自信と誇りを持って、働いていた」「明るい方が多く、積極的に仕事をされていた」と働いている方の雰囲気は施設全体の印象にもなっているようです。

### 【見学の結果】

見学会を通して、「福祉人材センターを利用して、介



施設見学



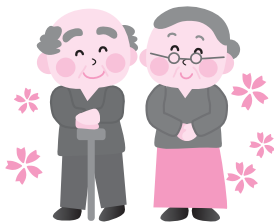
施設見学

【施設の感想】

一方、見学した施設から  
護の資格や就職について相談してみたい」が32人で、次いで「将来、介護業界に就職してみようと思った」が20人、「介護系の大学・短大・専門学校に進学してみようと思った」が5人と、今後介護系学校への進学や介護施設への就職を考える良いきっかけになってくれたようです。

は、「皆さん興味深そうに聞いてくれた。少しでも介護業界で一緒に働く仲間が増えてほしい」「ゆっくりと説明し、施設内を見てもらうことができ、とても良い機会だった」と手応えを感じ、見学者の介護業界への就職を期待する声が多く聞かれました。

◆ ◆  
県福祉人材センターでは今後、見学会に参加された方への就職支援を行うとともに、来年度以降の実施に向けて、さらに内容の検討を図っていききたいと思っています。参加の方々と、また見学会実施を快く引き受けていただいた法人・介護施設にお礼申し上げます。



新潟県福祉人材センターでは、『福祉人材無料職業紹介事業』を大きな柱に、福祉の仕事や就職活動についての相談や情報提供など、福祉人材の確保や定着に向けた事業を行っています。

福祉人材無料職業紹介事業

県内3ヶ所の相談窓口で、福祉施設等へ就職を希望する方の相談や、求職登録を行い、福祉事業所の求人に応じて福祉職場を紹介いたします。長岡・上越での相談予約は下記電話番号までお電話ください。

【相談窓口】

**新潟** **予約不要**

**場所**  
新潟ユニソンプラザ3階  
〒950-8575  
新潟市中央区上所 2-2-2

**相談日**  
月曜日～金曜日  
(土・日、祝日、年末・年始は除く)

**相談時間**  
9:00～17:00

**長岡** **要予約**

**場所**  
長岡市社会福祉センタートモシア2階  
〒940-0071  
長岡市表町2- 2-21

**相談日**  
月曜日～金曜日  
(土・日、祝日、年末・年始は除く)

**相談時間**  
10:00～15:00

**予約受付時間**  
9:00～17:00  
(土・日、祝日、年末・年始は除く)

**上越** **要予約**

**場所**  
上越総合福祉センター2階  
〒943-0806  
上越市木田新田1- 1- 3

**相談日**  
月曜日～金曜日  
(土・日、祝日、年末・年始は除く)

**相談時間**  
13:00～15:00

**予約受付時間**  
9:00～17:00  
(土・日、祝日、年末・年始は除く)

社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会 新潟県福祉人材センター TEL 025-281-5523 FAX 025-282-0548

●平成30年12月25日  
BSN愛の募金  
新潟県内の福祉施設へ  
1,500,000円

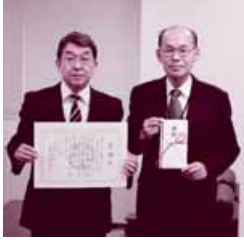
  
第25回「鉄道の日」  
北陸信越地方実行委員会

●平成30年12月20日  
第25回「鉄道の日」北陸信越  
地方実行委員会  
災害ボランティア活動促進のため  
166,384円

●平成30年12月11日  
株式会社 本間組 石友会様  
新潟県内の福祉施設へ  
65,000円

●平成30年12月3日  
新潟ろうきん夢咲きClub、  
新潟ろうきんシニア倶楽部様  
地域福祉の事業のため  
109,413円

●平成30年12月3日  
新潟ろうきん夢咲きClub、  
新潟ろうきんシニア倶楽部  
寄付ありがとうございました  
(敬称略)



平成30年度 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

# ボランティア活動保険

全国200万人  
加入!!

## 保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ		
葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)			
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

## 年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償します(天災危険担保特約条項)が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

●後遺障害も  
フルカバーなので  
安心です!!

## 保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなられた。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花びんを落としてこわした。(賠償責任の補償)
- 自転車ボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

# ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動や  
ボランティア活動の  
さまざまな行事における  
ケガ、賠償(主催者責任)  
を補償!!

## 保険金額

A・B・Cプラン共通 (A・B・Cプラン共に熱中症危険補償特約セット)

保険金の種類		補償内容	
ケガの補償	死亡保険金	400万円	
	後遺障害保険金	400万円(限度額)	
	入院保険金日額	3,500円	
	手術 保険金	入院中の手術	35,000円
		外来の手術	17,500円
通院保険金日額	2,200円		
賠償責任	対人事故	1名・1事故 2億円(限度額)	
	対物事故	1事故 1,000万円(限度額)	

※賠償責任の補償の限度額は、補償の対象となるリスクの種類ごとに適用されます。

## 保険料(1名あたり)

※詳しい内容は、パンフレットをご覧ください。

Aプラン (宿泊を伴わない行事)		
A1の行事	A2の行事	A3の行事
1日 28円 (最低保険料 560円)	1日 126円 (最低保険料 2,520円)	1日 248円 (最低保険料 4,960円)
Bプラン (宿泊を伴う行事)		
1泊2日(2日間)	2泊3日(3日間)	295円
Cプラン (宿泊を伴わない、かつ参加者が事前に特定できない行事)		
A1の行事		
1日 28円(最低保険料 560円)		

## 送迎サービス補償

(傷害保険)

- ◆送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

## 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約束手続費用保険(オプション))

- ◆ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事  
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03 (3349) 5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763  
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

# 平成30年度 新潟県社会福祉協議会 賛助会員 ご支援・ご協力ありがとうございました。

本会の活動の趣旨にご賛同いただき、多くの皆様から会費をお寄せいただきました。

本会が取り組んでおります地域福祉向上のための広報、啓発事業などさまざまな事業に活用させていただきます。今後とも、ご理解とご支援・ご協力をお願い申し上げます。

【名 称】 (順不同・敬称略)	【名 称】 (順不同・敬称略)
株式会社新潟日報社	株式会社植木組
株式会社新潟放送	新潟冷蔵株式会社
株式会社新潟総合テレビ	株式会社福田組
株式会社テレビ新潟放送網	アクシアル リテイリング株式会社
株式会社新潟テレビ21	株式会社ブルボン
株式会社エフエムラジオ新潟	株式会社BSNアイネット
新潟県民エフエム放送株式会社	株式会社電通東日本新潟支社
株式会社第四銀行	ホリカフーズ株式会社
株式会社北越銀行	株式会社新潟博報堂
株式会社大光銀行	株式会社ホテル新潟
新潟県信用農業協同組合連合会	株式会社アークベル
新潟県信用組合	第一建設工業株式会社
新潟信用金庫	公益財団法人新潟県女性財団
三条信用金庫	社会福祉法人恩賜財団済生会支部新潟県済生会
新潟県労働金庫	新潟日報会
株式会社新潟日報サービスネット	一般社団法人新潟県健康管理協会
株式会社新潟日報事業社	一般社団法人生命保険協会 新潟県協会
東北電力株式会社新潟支店	高田西城病院
セコム上信越株式会社	新潟県行政書士会
新潟総合警備保障株式会社	新潟県火災共済協同組合
北陸ガス株式会社	学校法人新潟総合学園
亀田製菓株式会社	学校法人新潟平成学院
岩塚製菓株式会社	学校法人新潟青陵学園
中越運送株式会社	学校法人加茂暁星学園
株式会社新潟グランドホテル	学校法人敬和学園
株式会社コロナ	学校法人新潟科学技術学園
株式会社本間組	公立学校法人新潟県立看護大学

※企業・団体の賛助会員のみ掲載。

## 賛助会員を募集しています

### ◇お問い合わせ・お申し込みは

社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会 総務管理課  
〒950-8575 新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階  
電話 025 (281) 5520 Fax 025 (281) 5528  
ホームページ <http://www.fukushiniigata.or.jp/>





## アコガレ

「世界のTSUKIJI」が「世界のTOYOSU」に変化を遂げたと同時期に私も生活を変えた。半ば脅迫的とも言えるくらい、勢いに任せて生活を一変させた。

しかし、生活を変えるところとは多少なりともストレスを感じながら生活を送ることとなる。「責任」や「難しさ」も手に取るように分かる。何かに、誰かに頼りたくなるし、心のよりどころも欲してしまう。

そんな状況のなか、憧れていた生活を思い出してマネを試みる。集めるモノや考え方、しぐさや身に覚えのある感触などすべて

「憧れ」に自身を重ねてみる。そこにはオリジナリティーが無いことに気づく。それでも「憧れ」に少しでも追いつきたくて、見えないその面影を強がりながら必死で追いかける。そんなことを知るはずもない「憧れ」は立ち止まってくれることもなければ、振り返ってくれることもない。一人で嗅覚や視覚、聴覚などありとあらゆる感覚を全身で思い出し、その面影を見つめるため、前か後ろかも分からない暗闇のなかをただひたすらに旅をする。

ふと「憧れ」を感じようと目を瞑ると、同時に柔らかなぬくもりやキラキラした思い出、閉じ込めていた思いさえも一瞬にして記憶がよみがえる。モノクロだった私の生活にキレイな彩りを与えてくれた。そんな幸せな気持ちが強すぎて目を開けるのが辛い。それでも思い出が滲まないうようにそっと心にある鍵付きの宝箱にしまい込み、目の前の生活を見つめる。心のよりどころである「憧れ」に生きる糧を得ながら、あままり頑張りすぎず、私なりの生活を歩む。

(三青)

## 福祉NEWS

2018年12月11日~2019年1月10日

### ■給付奨学金、上限倍に

政府は2020年度から始める大学などの高等教育の無償化で、低所得世帯の学生に支給する返済不要の給付型奨学金について、1人当たり最大年約91万円とする方向で検討しており現行の最大48万円から倍近く増やす。高等教育の無償化は政府が進める「人づくり革命」の一つ。公費で支援するため、学生の取得単位数が基準に満たない場合などは支援を打ち切る。財源は消費税率10%への引き上げによる増収分の一部を充てる。

### ■県内で高齢者半数以上の集落 849

県内で65歳以上の高齢者が半数以上の集落が849あり、全集落8552の約1割を占めることが1月23日、新潟日報社が県内全30市町村の首長に行ったアンケートで分かった。849集落のうち39集落は全ての住民が65歳以上で、少子高齢化の進行が鮮明になった。今後10年以内に人が住まなくなり消滅する可能性があるとした集落は16あった。一方、過去10年間に行政の施策を利用して県外から移住した人は、少なくとも1888人おり、増加傾向にあることも判明した。

### ■「伴侶介護したい」妻3割 夫5割

夫は伴侶を介護したいが、妻はそうでもない。40代以上に配偶者の介護に関して聞くと、妻の介護をしたい男性は53.4%を占めたが、夫を介護したい女性は30.9%と、大きな差があることが民間調査でわかった。昨年9月に高齢者向け住宅事業を運営するオリックス・リビングが40代以上の男女約1200人を対象にインターネットで調査した。担当者は「女性は介護を現実的な問題と捉え、体格差など具体的な難しさを想定しているのではないかと分析している。



# 福祉の店 味わい散歩

ラグーンカフェ

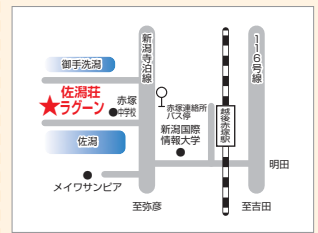
医療法人 水明会

(新潟市西区赤塚5586)

◇10時～14時

◇第4金曜、土曜・日曜・祝日休み

◇025(2339)2150



## みんなで作る心込めた名物カレー

それほど辛いと思わないが、後からジワっと汗が浮かんでくる。味わいのあかる看板メニューの「ラグーンカレー」。さまざまなスパイスを使い、試作を重ねた独自の調合で前日から仕込んだ逸品で、さらに辛さを欲する人には「レッドカレー」も用意されています。



開店から4年半ほど。接客が苦手だった利用者も、開店準備から調理など、それぞれが役割を持って、仕事をしています。そして、「働くことやコミュニケーションをとることに楽しさを得られる場」となることを目指しています。

カレーや季節のごはん、季節のラーメン

を500円で提供し、温かな雰囲気のカフェはリピーターも多いといえます。

ドリンクやデザートも充実、利用者とスタッフ

フがアイデアを出し合った季節限定のメニュー。今は「汁なしスーラータンメン」や「ホットジンジャー」などが好評です。新メニューのごはん物は訪れてからの楽しみ。

地場産の食材はもちろん、夏から秋にかけては、カフェわきの畑で採れるキュウリやシソなど、自ら育てた野菜が使われています。

店内では、手作りのかわいい小物や絵画が販売され、運が良ければ「せいちゃん動物園」もしてもらえます。

連載「味わい散歩」は今回で終了いたします

## Information Red Feather 赤い羽根 情報

### 募金百貨店プロジェクト贈呈式

募金百貨店「ハッピーハート」にいがたプロジェクト」第7弾の募金贈呈式が12月3日に(株)ウオロクホールディングス本社で行われました。

このプロジェクトは、期間中にウオロク全店で販売された対象のサントリースドリンクの売り上げから、1商品1円が寄付される仕組みです。

本多社長からは「引き続き地域に貢献していきたい」とのお言葉をいただきました。

小田会長は、「様々な地域福祉課題に対応する取組みに有効活用させていただきます」と挨拶しました。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございます。

贈呈式では、ウオロクの本多伸一社長から小田会長に寄付金114万9,315円の目録が贈呈されました。



贈呈式の様子



ボランティア部メンバー

**【部の紹介】** 本校は旧分水町の熱心な誘致により昭和58(1983)年に開校した「地域の高等学校」です。写真は1年生部員18人です。3年生が12人でしたが、現在は18人で活動しています。(2年生が0)

## 分水高等学校

### ボランティア部

# 地域とつながり、奉仕の心学ぶ

分水高校ボランティア部は、それまで家庭ボランティア部の名称でしたが、平成30年度より、現在の名称で活動しています。

日常活動として、分水高校隣の介護老人保健施設「ぶんすい」に6月から2月

してきた中の思いや苦労してきた体験などを聞く良い機会となっています。

さらに、地域のさまざまな行事に参加し、ボランティア精神を学びながら、地域交流を図っています。

春は燕市観光協会の依頼

の間、月1回訪問しています。主に車いすの清掃をし、入所者の方々の会話・交流を通じて、お年寄りの今まで生き

を受け、つばめ桜祭りの「おいらん道中」で、分水駅前の道案内や一日おいらん体験の手伝い、祭り参加者への案内などを行いました。

8月末は、新潟県社会福祉協議会よりの依頼を受けて、24時間テレビ「愛は地球を救う」のチャリティー・キャンペーン活動の募金ボランティアをします。毎年のことながら、生徒のやる気をもって取り組む様子が



お年寄りらの車いすを清掃

ほぼ笑ましいです。暑い中の一日、声を張り上げて活動をしていました。

秋(9月末)は越後くがみ山酒呑童子行列のボランティアスタッフとして、活動します。準備段階として8月に、企画会議もあります。燕市観光協会のスタッフの方々と、高校生スタッフとして他校の生徒と一緒に熱心な打ち合わせをし、当日の「おもてなし」を頑張りました。

そして10月は分水商工会のボランティア活動です。



ゆるキャラ「きららん」に扮装

各種テントブースでの販売の手伝いや、体育館アリーナ内のドームで幼児の対応をしたり、ご当地ゆるキャラの「きららん」に扮装をしたりもしました。

こうした活動を通じて、地域の方々とふれあい、福祉や奉仕の心を学びます。本校の目指す生徒像の一つ「感謝する心を忘れず、他者の痛みのわかる豊かな心をもった生徒」にとつながる、人として大切な気持ちを育てて成長してほしいと願っています。

ボランティア部顧問

西片 恵美子

Ⅱ次回は4月号に掲載Ⅱ

# 温かみある予算編成求める

## 福祉団体が新年度予算で知事に要望書

新潟県社会福祉協議会など10の福祉団体は12月25日、県庁に花角英世知事を訪問、県の社会福祉政策や編成作業が進む31年度予算に対する10項目の共同要望書を提出し、その実現を訴えました。共同要望は今回で6回目となります。

冒頭、竹内希六・県社協会長が、県が来年度予算編成で各部局からの予算要求を10%削減するシーリング



竹内・県社協会長が代表して、花角知事に共同要望書を手渡し切実な状況を強調

を設けていることを踏まえ

「厳しい財政状況は認識しているが、福祉関連事業をマイナスシーリングの枠から外し、社会的弱者の生活に影響を及ぼさないよう配慮を」と10団体を代表して訴え、「平成31年度新潟県福祉団体共同要望書」を花

角知事に手渡しました。続いて各団体の会長・理事長が個々の内容について説明しました。

これに対し、花角知事は「要望は受け止めた。担当部局の話を聞きながら、取り入れられるものは取り入れたい」と回答。竹内・県

## 知事に対する重点要望

### ◆人材の確保と雇用

◆現在行われている介護事業所に対する支援施策を継続すると共に、外国人介護人材受け入れにかかる支援体制の整備をお願いします

◆介護職員のキャリアアップ支援と就労促進の取組について  
(新潟県老人福祉施設協議会)  
(新潟県介護福祉士会)

### ◆安心して生活できるサービスの確保

◆福祉避難所を必要とする障がい児者数の確かな把握、災害時における必要な福祉避難所の早期設置と周知、支援施設・特別支援学校の福祉避難所としての利用の拡充及び福祉避難所における支援人員の確保も含めた支援体制整備についての市町村に対する働きかけ

◆精神障害者保健福祉手帳2級、3級まで県障の助成対象にしてください (新潟県精神障害者家族会連合会)  
◆ひとり親家庭等就業・自立支援センター出張相談の継続と事業費の増額について  
(新潟県母子寡婦福祉連合会)

### ◆地域に根差した活動への支援

◆「地域共生社会」の実現に向けた、民生委員・児童委員の増大する「担い手としての役割」や「活動」を支える民生委員活動費の増額

◆地域支援事業における市町村との連携に向けた支援について  
(新潟県民生委員児童委員協議会)  
◆障害のある人のスポーツ・文化活動を継続的に支援してください  
(新潟県老人クラブ連合会)  
(新潟県身体障害者団体連合会)

### ◆その他

◆新潟ユニゾンプラザの計画的な更新・修繕  
(新潟県社会福祉協議会 新潟県民生委員児童委員協議会)  
◆新潟県老人福祉施設協議会 新潟県老人クラブ連合会 新潟県手をつなぐ育成会 新潟県母子寡婦福祉連合会 新潟県社会福祉士会 新潟県介護福祉士会)  
◆改正社会福祉法の趣旨を踏まえた市町村「地域福祉計画」の策定又は改正に向けた協力的体制の構築について  
(新潟県社会福祉士会)



各団体が藤山部長らに切実な要望内容について説明

社協会長は「地域共生の観点から、温かい目で見てほしい。温かい予算を作ってほしい」と改めて強調しました。

知事への要望に先立ち、10団体の会長・理事長と事務局長は、藤山育郎・福祉保健部長に合わせて11項目の要望書を提出、各団体の要望実現に向けた協力を強く要請しました。前年に引き続き、各担当課長も同席し要望に耳を傾けました。

# 新潟の民話

体が大きく無口なので「牛女」と呼ばれている女がいました。彼女は力仕事をして暮らしていましたが、まだ小さな息子を残して病死してしまいました。

牛女をとむらったあと、村人たちは山の残雪の中に、女の姿が浮き出ているのに気づきました。人々は幼子を残して死

## 牛女 母の優しい心が雪形となる

んだ牛女に同情しました。牛女の息子は村人に育てられ、よその村に奉公にいきました。息子が村を離れると、山の牛女の姿も現れなくなりました。

大人になって村に帰ってきた牛女の息子は、世話になった故郷の人たちに恩返しをしようと梨の木をたくさん植えました。ところが、風や虫のために、さっぱり収穫ができません。牛女の息子は途方にくれ、幼い日に母の姿が現れた山のことを思い出しました。母を思い、母の姿

を現してくれた山に感謝して手をあわせました。その年の春、梨の花はみごとに咲き、牛女の息子は世話になった村の人たちにも恩返しをすることができました。

残雪の中に現れる模様を雪形といいます。妙高市、湯沢町、南魚沼市などで聞くことができる牛女の伝説は、小川未明の童話の原型となったといわれています。

山を見ていなければ雪形にさえ、気づくことはありません。雪形に名をつけ、その形で作物の出来不出来を占った昔の

人は、なんと優しい心を持っていたのでしょうか。その心を忘れずに、自然とつながっていたいですね。自然は見返りも求めず私たちを守ってくれているのですから。

文・絵 高橋 郁丸

(新潟県民俗学会理事)

新潟妖怪研究所長



## 新潟ユニゾンプラザ 情報

### ◆主な貸室の紹介 【特別会議室】



【定員】60名 【広さ】186㎡ (カーペット敷)

スクール形式では最大60席までのご利用が可能です。

また、口の字形式など目的に合わせたレイアウトで、各種セミナーや面接・筆記試験会場、社内外の会議など幅広くご利用いただけます。



### 貸ホール・貸会議室は新潟ユニゾンプラザへ

多目的ホール、大会議室、大・中・小研修室など用途や規模にあわせてご利用いただけます。

無料の専用駐車場(220台)を完備しております。

### ◆貸室の利用申込方法

ユニゾンプラザホームページよりお申し込みください。貸室の予約状況も公開しています。

URL : <http://www.unisonplaza.jp/>

### 【中研修室】



【定員】80名

【広さ】236㎡

会議・セミナー・教室など幅広い用途にお使いいただけます。

跳ね上げ式テーブルにより、配置換えの移動も容易にできます。

この機関誌は、  
赤い羽根共同募金の  
助成を受け発行しています。



発行所/社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会

新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ

☎ 025-281-5584

発行人/関谷 政友

定 価/5円 (会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた

平成31年2月1日発行 (毎月1日発行)

昭和27年9月16日 第三種郵便物認可

印刷/島津印刷㈱